



# マイティ 一液エポキシシーラー

エポキシ系のシーラーは密着力と浸透性に非常に優れています。  
しかし、これまでのエポキシ系シーラーには強溶剤であるという弱点がありました。  
「マイティ一液エポキシシーラー」は、弱溶剤タイプで、さらに一液タイプにしたことで作業性の  
大幅アップが可能になりました。現場に欠かせない使いやすいシーラーです。

弱溶剤  
だから

リフティングの恐れなし  
環境問題もクリアー  
幅広い上塗りの選択性

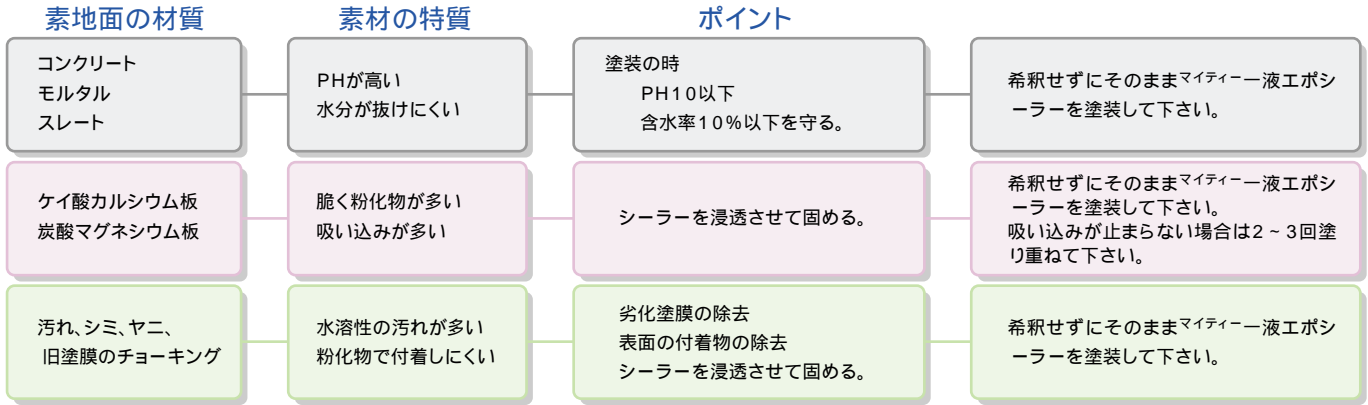
一液  
だから

作業性が良い  
扱いやすい

容量：  
15kg

色相：  
クリアー

# マイティー液エポキシシーラー



## 標準塗装仕様

工程	商品名	希釈率 (%)	塗装回数	標準使用量 kg/m <sup>2</sup> /回)	塗装間隔	塗装方法
1 下地処理	新設					
	塗替					
2 下塗り	マイティー液エポキシシーラー	無希釈	1~2	0.10~0.20	3時間以上、7日以内	刷毛、ローラー、エアレス
3 上塗り	下記上塗り可能塗料を参考にして下さい。					

- 注1)標準使用量は、被塗物の形状や素材・塗装方法・環境などによって増減することがあります。  
 注2)劣化した新生瓦など吸い込みの著しい素材の場合、2回塗りを行って下さい。2回塗装しても吸い込みが止まらない場合は、吸い込みが止まるまで塗り重ねて下さい。  
 注3)旧塗膜の状態が良好で、吸い込みの少ない場合は、必要以上に塗り込まないで下さい。ハジキなどの原因になります。  
 注4)乾燥過程で水(降雨など)の影響を受けると白化することがあります。この場合は軽く表面を研磨するなどの処理をして下さい。

## 適用下地・旧塗膜

適用下地	コンクリート、モルタル、PC板、ALC板、押出成形板、ケイカル板、石膏ボード、窯業系サイディングボード、新生瓦、セメント瓦など
適用旧塗膜	リシン、スタッコ、吹付タイル、弾性塗料、アクリル樹脂塗料、ウレタン樹脂塗料、塩化ビニル樹脂塗料、エマルジョン塗料など 但し、活膜(付着力5kg・f/cm <sup>2</sup> 以上)であること。 塗り替え時の上塗りに強溶剤系塗料を使用する場合、チヂミが発生することがあります。

上記以外の用途に使用される場合は、弊社にお問い合わせ下さい。




## 上塗り可能塗料

弱溶剤系	DNTウレタンマイルドクリーン、Vトッパー液マイルド、Vフロン#200マイルド、エコールマイルドシリーズ
水性系	ノボクリーンシリーズ、ハイライトECOシリーズ、DNTビュシリーズ、水性ビルデック、エコールAQUA Siなど
弾性系	DNTビュアクリル弾性、DNTビュウレタン弾性、DNTウレタンマイルドクリーン弾性
強溶剤系	Vトップ、Vフロンなど 注)強溶剤系塗料を上塗りに使用する場合は、塗装間隔を24時間以上(20)おいて下さい。早い時間に塗装しますとリフティングが起こる場合があります。

### 施工上の注意

- 塗料は希釈せずそのままお使い下さい。
- 塗料は使用前に十分攪拌し、均一な状態にしてから塗装して下さい。
- 結露などで塗面が湿っている時は、剥離や硬化不良の原因となりますので塗装は避けて下さい。
- 塗装場所の気温が5℃以下、湿度が85%以上または、換気が十分でなく結露の可能性が考えられる場合、乾燥過程で欠陥が生じることがありますので、塗装は避けて下さい。
- コンクリート、モルタルの養生は十分に行ってください。(PH10以下、含水率10%以下)
- 旧塗膜の浮きやよごれ、付着物は高圧水洗(15MPa以上)やサンダー、ワイヤーブラシ、皮スキ、ケレンなどで完全に除去してから塗装して下さい。不十分ですと塗膜剥離の原因になります。
- 油、ワックスなどが付着している場合は、ハジキや剥離の原因となりますので、完全に除去して下さい。
- 飛散防止のため、養生は十分行って下さい。
- 塗装時、塗料の取り扱いには換気を十分に行い、火気厳禁にして下さい。溶剤系塗料のため、室内での塗装時及び塗装後も必ず十分な換気をして下さい。また、外部での塗装も開口部などの養生を行ない、溶剤蒸気が室内に入らないように注意して下さい。
- 基材の吸い込みが激しい場合は、シーラーを2~3回塗りして下さい。
- 塗装後、乾燥不十分な状態での降雨、結露、高湿度などによる影響は、白化やシミとして残る場合があります。
- 開缶後は、塗料をすべて使い切ってください。
- 塗装終了後、刷毛などの用具は早めに塗料シンナーで洗浄して下さい。固着した場合はラッカーシンナーを使用して下さい。

### 使用上の注意

引火性  **あり**      警告  **1.引火性の液体である。**      有害性  **あり**  
**2.有機溶剤中毒の恐れがある。**

吸入したり皮ふにふれたりすると中毒やぶれを起こす恐れがありますから、  
 取扱いは下記注意事項を守ってください。

- 取扱い上の注意**
- 火気のない場所排気装置を設けたところで使用して下さい。
  - 塗装中、乾燥中は換気をよくし、蒸気を吸込まないようにして下さい。
  - 取扱い中は、皮ふにふれないようにし、必要に応じて下記の保護具を着用して下さい。  
有機溶剤用防毒マスク又は送気マスク、頭巾、保護メガネ、長袖の作業衣、入り巻きタオル保護手袋等。
  - 取扱い後は、手洗い及びうがいをして十分に行って下さい。
  - 塗料の付いたワエスや塗料カス、スプレーダストは廃棄するまで水につけておいて下さい。
  - よこフタをし、40℃以下の一定の場所に貯蔵して下さい。
  - 子供の手の届かないところに保管して下さい。
  - 捨てる時は、産業廃棄物として処分して下さい。
  - 本来の用途以外に使用しないで下さい。
  - 容器は垂直に持ち上げて下さい。斜めに持ち上げると取っ手が外れ、落下事故の危険があります。
- 緊急時の処置**
- 火災時には炭酸ガス消火器、泡消火器又は粉末消火器を用いて下さい。
  - 目に入った時には、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
  - 誤って飲み込んだ時には、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
  - 皮ふに付着した時には、多量の石けん水で洗い落とし、痛みや皮ふに変化等がある場合には、医師の診察を受けて下さい。
  - 蒸気、ガス等を吸込んで気分が悪くなった時には、安静にし、医師の診察を受けて下さい。
  - 容器からこぼれた時には、布で拭き取り、その布を水の入った容器に保管して下さい。  
詳細な内容が必要な時には、製品安全データシート(MSDS)を参照して下さい。

本カタログに記載以外の条件で使用される場合は、弊社にお問い合わせ下さい。 本製品の内容は予告なく変更することがあります。

# DNT 大日本塗料株式会社

大阪営業所	06-6466-6618	〒554-0012	大阪市此花区西九条6-1-124
東京営業所	03-5710-4501	〒144-0052	東京都大田区蒲田5-13-23(TOKYU REIT蒲田ビル)
札幌営業所	011-822-1661	〒003-0012	札幌市白石区中央二条1-5-1
北関東営業所	0285-24-0123	〒323-0025	小山市城山町2-10-14(日光堂ビル)
名古屋営業所	052-332-1701	〒460-0022	名古屋市中区金山1-12-14(金山総合ビル)
岡山営業所	086-255-0151	〒700-0034	岡山市高柳東町13-5
福岡営業所	092-938-8222	〒811-2312	福岡県粕屋郡粕屋町大字戸原字ハレ142

塗料相談室 フリーコール 0088-22-1641

